



移転プレ企画

京都芸大

「今熊野・岡崎学舎」

井上隆雄写真展

—もう一つの『描き歌い伝えて』

2018

2/7 水 ▶ 2/11 日

元・崇仁小学校

〔13:00-17:00〕会期中無休

観覧料無料

もう一つの『描き歌い伝えて』

2017年4月より京都市立芸術大学芸術資源研究センターでは、本学出身であり写真家として数々の功績を残された井上隆雄さんの膨大な写真関連資料をお預かりし、調査研究を進めています。今年の資料調査で、京都市立芸術大学が現在の沓掛に移転する前の「今熊野・岡崎学舎」(1926年から1980年まで)の写真プリントが多数保管されていることを確認しました。調査の結果、1980年に刊行された今熊野・岡崎学舎の記録集『描き歌い伝えて』には掲載されていない写真も含まれていました。

そこで本展では、井上隆雄さんが残したこの京都芸大今熊野・岡崎学舎の写真プリントやポジ・ネガ、記録集作成のための資料を展示するとともに、本プロジェクト「井上隆雄写真資料に基づいたアーカイブ実践研究」の活動紹介を行います。

そのため本展は単なる写真展ではありません。書籍・プリント・ネガ・ポジ・メモ類等、関連資料を併置することで、近年、表現の多様化やデジタルメディアの発展とともにその動向が注視されているアーカイブ、すなわち資料の分類・調査・管理・利活用の意義を検証します。また現在、京都市立芸術大学は沓掛からこの崇仁地区への移転を計画しています。この元・崇仁小学校を舞台に「今熊野・岡崎学舎」の写真を展示し、今熊野・岡崎→沓掛→崇仁地区という長い年月を一つに重ね合わせることで、移転や歴史について考えるささやかな場となるでしょう。

井上隆雄氏のご紹介

井上隆雄は1940年に滋賀県大津市に生まれ、1965年に京都市立芸術大学(当時は京都市立美術大学)の工芸科を卒業し、1973年より写真家として独立している。2016年7月21日に肺炎のため、76歳で亡くなった。

撮影対象は、仏教美術、国内外の風景、京都の文化を主としつつ、アジアを中心とした諸民族の生活、国内では美術作品や展覧会の記録、今熊野時代の京都市立芸術大学を記録した写真集『描き歌い伝えて』(1980年)に携わるなど、美術や本学との関連も深い。展覧会歴も、ニューヨークでの個展「禅-Meditation」(Cast Iron Gallery)や「京都美術文化賞受賞作家展」、「梅原猛と33人のアーティスト展」などかなりの数に及ぶ。出版物に関しても、講談社や淡交社、新潮社など多数の企画に携わっている。

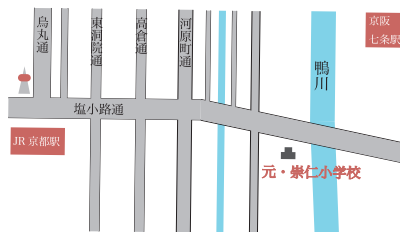
1984年に「京都市芸術新人賞」受賞をはじめ、2000年に「日本写真学会賞(東陽賞)」、2004年に「京都市文化功労者表彰」、他多数の受賞がある。



「井上隆雄写真資料に基づいたアーカイブ実践研究」とは

京都市立芸術大学芸術資源研究センターにおいて 2017年4月より始まったプロジェクトです。本研究センターでは、2016年7月に亡くなられた写真家・井上隆雄氏の写真資料をお預かりしています。本プロジェクトは、この本学のご出身でもある井上隆雄氏が残した膨大な写真資料を対象として、アーカイブ(資料の分類・調査・管理・利活用)の実践を行いつつ、さらにそのような実際の資料調査を通じた美術・文化史への新たな方法論の構築を目指しています。

*資料室に「活動紹介リーフレット」を置いています。ご自由にお取りください。



●アクセス

〒600-8252 京都府京都市下京区川端町16

京阪線七条駅1番出口から徒歩7分

地下鉄烏丸線京都駅ポルタA3出口から徒歩7分

JR京都駅八条東口から徒歩10分

●お問い合わせ

山下晃平: kazenone.kk@gmail.com

京都市立芸術大学芸術資源研究センター事務局

〒610-1197 京都市西京区大枝沓掛町13-6

TEL/FAX: 075-334-2217

メール: arc@kcua.ac.jp

ウェブサイト: <http://www.kcua.ac.jp/arc>

企画 = 山下晃平

(「井上隆雄写真資料に基づいたアーカイブの実践研究」プロジェクトリーダー)

岡崎藍、西尾友希、林宏枝

主催 = 京都市立芸術大学芸術資源研究センター

協力 = 石原友明、入澤聖明、桐月沙樹、小牧徳満

助成 = 平成29年度京都市立芸術大学特別研究助成

